



<目次>

1. 災害支援活動協力員募集と寄付金のお願い
2. 今後の会議・報告会の予定
3. 石巻・現地情報
4. 石巻・現地支援活動報告



9 月以降の現地支援の方向性

災害対策本部長 佐原まち子

8 月 18・19 日で現地関連機関に挨拶かたがた、今後の支援方向性を考えるために入りました。

福祉避難所遊楽館の入所者の方々は、それぞれ先の方向性が見えてきた状況です。当協会の MSW が調整支援に当たり、バトンつなぎの SW 支援にもかかわらず問題なく活動が実を結んでいます。8 月下旬から 9 月末までは、退所に係わる関係者カンファレンスへの参加や、退所サマリーの作成など専門的支援の力量発揮の時期にきています。退所後の地域との連携が丁寧にされなければ、今後お一人お一人の生活安定に係わる問題に発展します。遊楽館の閉鎖までは気が抜けない状況です。

また仮設住宅の支援も開始となりますが、我々のできる支援の方向性を絞り込んでいるところです。遊楽館閉鎖後の当協会の活動拠点場所として、東京文京区千石にあります「医療法人鉄祐会 祐ホームクリニック」が石巻に診療所を開設されることになり、(石巻市水明北2-1-24)そこに机と電話を一ついただけることになりました。訪問診療のみのクリニックとして石巻医師会から委託され 9 月 1 日より診療が開始されます。診療にあたる医師は祐クリニックの武藤院長や東京から支援にあたる医師で、現地の先生ではありません。そのため 4 月からの 5 か月間で我々が築いた石巻ネットワークが祐クリニックの診療にも役に立つことを期待されています。MSW ならではの支援拠点を得て、長く継続していくためにも我々の日ごろのスキルを発揮して現地の専門職支援を行う方針は揺るぎません。

今後の活動にぜひ注目いただき、参加できない会員の方も長い目で関心を持って見守ってください。

<1. 災害支援活動協力員募集と寄付金のお願い>

9 月以降の人員確保が出来ていない状況にあります。

多くの方の協力をよろしくお願い致します！

① 支援活動協力員登録人数(8月23日(火)現在)

- ・ 現地支援活動協力員 : 162名
- ・ 事務所支援活動協力員 : 92名

皆様お忙しい中のご参加で人員が不足しております。ご協力頂ける方は下記までご連絡下さい。

災害対策本部(03-3351-5038 又は dsstsw@jaswhs.or.jp) 平日・土・祝 10~17時

※メールでのご連絡の際は、件名に「(現地)または(事務所)災害支援活動協力員希望」とご記載下さい。

② 現地支援活動について

宮城県石巻市の避難所「遊楽館」へ、1日4~5名を目標に派遣を行っています。

- ・ 車を運転出来る方が望ましいですが、複数で行動していますので、運転できない方もご相談くだされば、対応できます。
- ・ 引き継ぎ等の関係により、前後の移動日を含めず、中3日以上活動をお願いしたいと思います。できれば1週間来ていただければ、理想的です。

③ 事務所支援活動について

活動日程 : 月~土、祝日 の 10時~17時 ※半日での参加も可能です

活動内容 : 主に現地支援活動協力員の派遣調整、現地とのやりとり、電話・メール対応、事務処理
1日4名を目標にご参加頂いております。

財政的に厳しい状況が続いているため、できるだけ事務所に来やすい方を希望します。事務所協力員に関しては交通費1200円上限と当面させていただきます。多数ご協力をお願いします。

④ 寄付金の振込口座:郵便振込口座

資金が底をつきつつあります。皆様の更なる協力をお願い申し上げます。

口座名義 : 日本MSW協会災害支援金

口座番号 : 00100-1-89515

支店名 : 〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)

口座種別 : 当座

※他の金融機関からお振り込みいただく場合には下記のようにお願いします。

ゆうちょ銀行 口座種別 : 当座預金 支店 : 〇一九(読み方:ゼロいちきゅう)店

口座番号 : 89515

備考 : お振り込みいただく金額に制限はございません。

ご自分のお名前とご連絡先をご記入ください。

お振込手数料は、各自でご負担ください。

ご協力いただきました寄付の用途については、理事会(2011年3月27日開催)において当協会の行う東日本大震災 災害救援活動に使うことと決定いたしました。

<2. 今後の会議・報告会の予定>

●災害支援対策会議・報告会

日 時：2011年8月29日(月) 19時～21時
場 所：日本医療社会福祉協会 会議室
申込み：不要(直接会場へお越し下さい)

議事録をご希望の方は、災害対策メールでお申込みください。

5月まで行っていましたが、現地ボランティア活動報告会及び事務所ボランティアオリエンテーションですが、6月20日に合同で開催し、7月以降も合同で開催する運びとなりました。

<3. 石巻・現地情報>

① 石巻での活動内容 ※内容は状況により変動します。

- ・遊楽館利用者への相談支援
- ・遊楽館から退所した人へのフォローアップ
- ・域外の病院に入院している人への退院支援
- ・地域の保健医療福祉機関のニーズ把握と対応
- ・福祉関係職種との連携との協働
- ・退所サマリー、経過サマリー作成業務
- ・仮設住宅での支援活動

② 宿泊場所

5月23日より、2LDKのマンションを宿泊場所として使用開始しました。

*JR 東北新幹線 陸羽東線 古川駅より徒歩約9分

*駐車場 1台(原則移動車 1台以外は、遊楽館に駐車となります)

*布団はありますが、シーツ・枕カバー、タオルなどはご持参下さい。

マンションでの生活用品の寄附を募集中!

詳しくは災害対策本部までお問い合わせください。

③ 現地移動車両

このたび中古車販売のガリバーインターナショナル社のご厚意により、当会へ半年間自動車を1台貸与していただくことになりました(保険や車検関係はガリバー社が負担してくださっています)。6月20日に仙台泉店より引き取り、既に石巻に移送が完了しております。今後は現地ボランティアの皆様のご足としてアパートと遊楽館との往復、支援活動にご利用いただけます。詳細とお願いは、次の通りです。

- ・ 車種 トヨタ「イスト」 ナンバー「野田 501ち 3967」 銀色
- ・ 利用される場合には、安全運転はもちろんですが、車の調子の確認、ガソリンの補給(給油したら協会に請求してください)、および鍵の管理をお願いします。
- ・ 駐車違反・盗難等に注意してください。

④ 携帯電話

ソフトバンク様より、当協会へ20台の災害用電話の無料貸し出しをしていただきました。7月1日より、現地および、協会本部はソフトバンクの携帯電話を利用しています。

<4. 石巻・現地支援活動報告>

青木 達人(函館稜北病院)

期間:7月31日~8月1日

<支援内容>

- ・ 遊楽館利用者への相談支援・グループワーク
- ・ 介護保険課・PCATとカンファレンス
- ・ 遊楽館退所した人の家庭訪問
- ・ 退所サマリー・経過サマリーの作成

<課題・感想・反省点>

このたびは、現地の方々を含め、いろいろなご配慮いただきました。

災害の中で様々なものを失った方々が、最後まで今後の生活の場を模索しているのを2日間の活動で実感いたしました。日常、私たちが支援している、医療処置の必要な方、独居、経済的困難を抱えた方が多くいらっしゃいましたが、そういう方にMSWは寄り添い、介護や医療と生活を結びつけ支援を続けていかなければならないと思いました。また、記録の中から、全国の会員が被災者の方々と向き合い苦労した経過も垣間見ることができました。この中で、今まで経験したことがない被災という状況に置かれた方々に、共感し、受容し、個別的に支援をすすめていくという日常の私たちがおこなっている基本的なことがいかに大切かということも同時に学びました。今後、被災された方々が生活を取り戻すまで必要な支援を続けていくことも必要であると感じました。

<参加を検討されている方へ>

ぜひ、機会をみて現地支援活動に参加してください。条件の関係で現地支援活動に参加できない方もいると思います。参加できない方は、参加した方から直接話を聞く機会にぜひ参加してほしいと思います。